

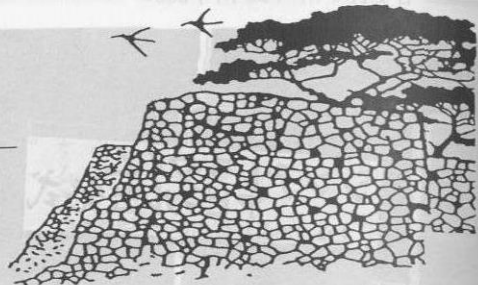
# たけいん

◆ 広報

9

1995

No.238



毎月1日発行

●今帰仁村の人口

男 4,849人(+14) 女 4,837(0) 計 9,686(+14)

世帯数 3,205(+5)

平成7年7月末現在



## 村民憲章碑「除幕

今帰仁村民憲章制定から約二年。

二月から村コミュニティセンター前に建設を進めていた「今帰仁村民憲章碑」の除幕式が八月八日、挙行された。

上間博安村長や村子ども会など村内の各種団体長によって除幕が行われた後、上間村長は「自然と歴史とロマンに満ち躍動する村づくりのために制定された村民憲章は、今帰仁チユのチムチュラサを余すところなく表現している。このようなすばらしい憲章が碑に刻まれて大変喜しい。この石碑は日本一と自負している」とあいさつを述べた。

石碑は、高さ一・五m幅二・八m、厚み〇・八mの大きさを源河石でできている。揮毫は大城武雄氏(平敷出身)。

# 「夜型社会」をなくそう シンデレラタイム をアピール



▲中央公民館広場で開催された「シンデレラタイム」出発式

全協会が主催した。出発式で西島一将教育長は「二十一世紀を担う青少年を健全育成し、大人、自らが率先してシンデレラタイムを実践し、地域に根ざした運動を展開していこう」と強調した。

「シンデレラタイム」とは、大人が午前零時までに帰宅するという帰宅奨励時間のことです。八月十四日、村中央公民館広場で「シンデレラタイム」アピール出発式が関係者百人余りが参加して行われた。事件、事故の多くは深夜に発生し、大人の「夜型社会」の風潮は、青少年の健全育成に極めて悪影響を与えている。この「夜型社会」の問題を解決するため、みんなで「シンデレラタイム運動」を進めていこうと、村教育委員会、村青少年協、村婦人会、村交通安全協会が主催した。

## 国民年金制度に対する 知識の高揚を図る 国民年金推進協議会

平成6年度国民年金検認状況						無年金及び無年金予備軍		
平成7年3月末現在						平成7年6月末現在		
字名	被保険者数	対象数	実施数	検認率	順位	字名	無年金者	無年金予備軍
今泊	272	1,728	1,440	83.3	6	今泊	6	21
兼次	108	839	672	80.1	13	兼次	1	1
志	104	642	505	78.7	15	諸	4	9
与那嶺	101	560	462	82.5	9	与那嶺	0	3
仲尾次	73	513	480	93.6	2	仲尾次	1	8
崎山敷	76	760	667	87.8	4	崎山敷	0	4
平	144	839	699	83.3	6	平	0	11
越地	80	572	467	81.6	11	越地	1	3
謝名	162	1,011	795	78.6	16	謝名	3	7
仲宗根	387	2,574	2,110	82.0	10	仲宗根	6	23
玉城	167	920	634	68.9	19	玉城	2	8
呉我山	95	670	629	93.9	1	呉我山	1	5
湧川	265	1,415	1,182	83.5	5	湧川	1	25
天底	207	1,364	1,086	79.6	14	天底	6	10
勢理客	69	351	269	76.6	18	勢理客	2	2
渡喜仁	99	789	639	81.0	12	渡喜仁	1	8
上運天	78	498	413	82.9	8	上運天	1	5
運天	75	654	575	87.9	3	運天	1	4
古宇利	110	684	536	78.4	17	古宇利	8	20
合計	2,672	17,383	14,260	82.0		合計	67	177

また、山内晴子村婦人会長は「交通事故・犯罪のない住みよい村を目指し、大人が模範を示し生活リズムを整え、夜型社会を早期になくしよう」とアピールし提案した。そして地域からシンデレラタイムを盛り上げていこうと各字婦人会に、「『さあ帰ろう』」言いだす勇氣、私から、「シンデレラタイム明るい家庭の合言葉」などと書かれた横断幕が渡された。

平成七年度村国民年金推進協議会が、各字推進員多数出席のもと八月七日、村コミュニティセンターで開催された。上間博安村長は「高齢化社会の急速な進展に伴い、年金の国民生活に果たす役割は重要で、村民生活及び福祉の向上にうのおす経済的効果は大きなものがあります。国民年金の徴収はみなさんの努力により向上されつつあるが、その後、より豊かな生活をおくるため無年金者をなくし、今後



ともより一層の御協力をお願いいたします」とあいさつ。各字推進員に委嘱状が交付された。

みなさんは、「岩まくら固くもあらん安らかに、ねむれとぞいのる学びの友は」という詩を知っていますか。この詩は、戦争中、死んでいった友をなぐさめるために作られた詩です。このような、悲しい詩をつくらせた戦争とは、どういふものなのでしょう。私は今まで戦争というものは、武器などを使い、人と人が殺し合い、国のうばいなどをするのだと思っていました。



しかし、対馬丸での生き残りの先生の体験談を聞き、さらに、戦争の悲げきさを知りました。当時おさなかつた啓子先生は、「何人も人が、もがきながら悲しく死んでいくところを数えきれないほど見た」とおっしゃっていました。私の頭の中に、死体が海にプカプカうかんでいる場面が見えてきました。そうした体験談を啓子先生は、なみだをうかべながら話してくれた

## 伝え残そう沖繩戦

湧川小六年 真栄田 理沙



のです。五十年たった今も、啓子先生の心の中では、忘れたくても忘れられない、つらく悲しい思い出だと思います。講演を聞いて、戦争について二つの事をずっと考えています。まず一つは、大人達がおこした戦争で一番の被害者は、戦争にはじまな年寄り、女、そして、子供達だったということです。そして、戦争では人が人ではなくなるといふことでした。私は、もっと戦争

のことが知りたくて、おばあさんに聞いてみました。すると、「今は、平和すぎてとても、こわいさ」と一言、言ってくれました。それは五十年前の戦争で沖繩は戦場となり、毎日、空しゅうや軍かんからのこうげきがあり、そのため人々は、雨のように降るばくだんの中を安全なほうくうこうをさがしてにげました。そして、そこでも多くの人がなくなりました。家族全

員がなくなった家や子どもだけになったところもあったそうです。また、ほうくうこうにいた人達はアメリカ軍が「出てこい」と言っても、信用せず死んでいったことも話してくれました。その時、祖母が言った言葉の意味がわかりました。六月二十三日、私達湧川の子ども会は、毎年いれい塔のそうじをしています。今年、もう二度とおそろしい戦争をおこさないでね」と

天からなくなった人のメッセージが聞こえてくるようで私は「平和のためにがんばるからね」と心にちかひながら、心をこめてそうじしました。翌日、私は、村しゅさいの戦跡巡りに参加しました。平和祈念資料館では、戦争の写真がありました。中でも印象に残っているのは集団自決をしている写真でした。頭から血を流しながらたおれている人や何かを言い残して死んで

いった人、見るのがとてもつらかったです。その他には、平和のいしじへ行きました。いしじには、戦死した人達の名前がたくさんはられていました。そこに立っていると、死んでいった人達の「戦争を二度とおこさないで」という必死のうたえが私のむねにひびいてくるようでした。

## 児童オリンピック 陸上競技 小さな学校から 二人が優勝



嘉数 望君



上間 香さん

戦跡巡りに参加し、戦争がどんなに残こくなものか、どんなに悲しいものかについての考えがより深まりました。戦争が知らない私達は、永遠の平和が続くようにしなければならぬと改めて強く思いました。平和というすばらしい世界を作りだしたいのなら、戦争のむなしさ、残こくさを、えい写や本などを通してうたえていき、「戦争をくり返してはならない」という願いを語りついでいけばいいと思います。

七月三十日、県総合運動公園で開催された児童オリンピック陸上競技で、兼次小学校の嘉数望君(男子四年四百メートル74秒4)と上間香さん(女子五年四百メートル74秒9)は、並み居る強敵を押え堂々と優勝を飾った。特に嘉数君は、出場選手の中で最も小柄ながら、大きな選手を敗つての優勝に、会場から盛んな拍手が送られた。

学対シリーズ(16)



# 朝よみ・夕読み

兼次小四年 上 間 哲 郎

ぼくは、今、朝よみ・夕よみが、とても大好きです。それは朝も夕がたも本よみをする、一日が楽しくなるし、それに気分がすっきりするからです。

以前は、それほどしんけんにやらないで、ただ、やればそれでいいと思っていました。でも、父や母に、「これはとても大切なんだよ」と、とてもしんけん、何度もくりかえし言われました。

それが、きっかけでぼくは朝よみをがんばろうと、何度もくりかえし心でつよく思いました。最初は、ちよつとずつやりはじめ、やはり、いやだなあと思いましたが、がまんしてやっていました。三年の時、ぼくは童話で学校代表に選ばれて、とてもうれしく朝よみ・夕よみのことなど、わすれてやらなくなりました。そして、いよいよ村の童話大会の時、ぼくは、とてもきんちようしていました。でも

それよりも、とても大へんな事を思い出したので。

朝よみ・夕よみをするのをわすれてしまいやらなかったことです。ところが、ぼくの前に発表した子は、大きな声で発表もし、朝よみ・夕よみを毎日続けているのでしよう自信にみち、はっきりした話し方だったので。

結果は、その子がやっばりえらばれました。ぼくは、その時また、朝よみ・夕よみをはじめようと思いました。そのことがあって、朝よみ・夕よみをはじめました。

四年生になり、つづけて本よみをしていると、一日やらなかっただけで、気分がすっきりしないこともありました。朝よみは、声が小さくてもさいごまでいっしょうけんめい読もうと思いました。夕がたは、つかれていてもがんばって読もうと思いました。四年生でも、がんばって朝か夜に一回でもいいから続け

ようと思います。

ぼくは、本読みがおわると母や父や姉にかならず何かいわれます。注意したり、ほめたりして。「こうやってよんだ方がいい」とか、言われます。だから、朝よみ・夕よみがすきなんです。

ぼくは、朝よみ・夕よみをやってよかったことが、三つあります。

- (一) 作文がなんとなくすらすら書ける。
  - (二) どんな漢字でも、けっこう読める。
  - (三) 本を読んで、そうぞうがあつちからもこつちからもうかんできておもしろい。
- ぼくは、朝よみ・夕よみをしてよかったなあと思います。父や母が「本よみは、大切なんだよ」と言ったことがよくわかりました。これからもつけていきたいです。



今帰仁小3年 伊波綾乃



兼次小4年 仲里麻美

音読で いつも明るい わたしの家庭  
今帰仁小3年 上間 なつき

お母さん聞いて おはようのあとは、本読みタイム  
兼次小4年 仲里 麻美

一步一步、本読みでのぼろう 未来の階段  
天底小5年 与那 翼

## 「朝読み・夕読み」作文・標語・ポスターコンクール



# 「疲れた。でも楽しかった」 兼次中三年生全員が保育体験学習



幼児期の子どもの触れ合いを体験し、人間形成の大切な時期の保育の在り方を考えさせようと七月二十五〜二十八日の四日間、仲尾次保育所(上間昭子主任保育母)と中央保育所(大城清美主任保育母)で兼次中学校(前川亘校長)三年生二クラス全員(四十五人)が一日保育体験学習を行った。

最初は中々溶け込めなかった実習生たちは、園児たちが「お兄ちゃん、お姉ちゃん、肩車してー。砂遊びしよう」と寄り付いてきて遊んでいるうちに序々に慣れてきて、手を洗ってあげたり、洋服を着替えさせたりして、すっかり保母・保父の様になっていた。



▲ボール回しに、園児たちは大喜び。

また、お誕生日会の日に実習した六人は、園児たちに余興(指先でボールをくるくる回す)をプレゼント。園児たちは大喜び。保母たちは、この時ばかりは、すっかり実習生に任せきりだった。実習生たちは「疲れた。でもとても楽しかった。保母の仕事がこんなに大変だとは思わなかった」、「また機会があれば是非参加したい」と感想を書いていた。

大井川に清流を取り戻そうと七月三十日、仲宗根子ども会とPTAは大井川を清掃した後、コイの稚魚三千匹を放流した。

# 大井川にコイの稚魚3千匹を放流



▲きつといつかは清流を!

地域での子ども会活動により楽しく活発に行うため、美しい自然に囲まれたの野外活動を通して、楽しいキャンプ生活を体験し、飯ごう炊きなどの初歩的な技術を身につけ、自然に親しみ自然を愛する心を養うことを目的に、キャンプ研修会(主催、村教育委員会・村青少協外)が、八月八・九の両日、村乙羽山キャンプ場で行われた。キャンプには村内の小中学校四年生〜六年生まで四十人が参加、生活班や宿泊班に分かれ、三輪茂穂先生と比嘉良行先生からテントの設営や野外レクリエーション(ロープ結び、救急法)、飯ごう炊きなどの指導を受け、悪戦苦闘ながらも皆で協力し合い、チャレンジしていた。

# 村内の小学生四十人がキャンプ研修

## テント設営や飯ごう炊きさんなど

また、子どもたちはほとんどが初めての顔合せとなったが、すぐ顔見知りとなり和気あいあいと楽しいキャンプを過ごした。



▲班ごとに分かれてテント設営

# 兼次中が優勝 本部地区少年健全育成野球大会

第三十六回本部地区少年健全育成野球大会が八月八日、本部小・中学校グラウンドで開催された。大会には、本部地区の中学校から十チームが参加し熱戦を繰り広げた。決勝戦は兼次中学校と上本部中学校が対戦緊迫した投手戦の末、兼次中学校が1対0で勝ち、優勝の栄冠を手にした。

→なつかしい名車がスラリノ



↑死闘を繰り広げた闘牛大会。小学生からおじいちゃん、おばあちゃんまでナイスショット。



↑地元、おっぱ牛乳の早飲み競争。



▲スイカ割も子ども達に大人気。



→長田翔太ちゃん(四才)、大人顔負けのハチさばき



↑チビッコ綱引きは、諸志が優勝。



↑ステージを盛り上げた北山高放送部の2人。



↑出店も大繁昌

# まつりスナップ

まつりを盛り上げた、勇壮な湧川エイサー→



↑いまじん太鼓の軽快な動きは、観衆を魅了した。

←2日間で1万人が訪れた。

村まつりに御協力下さいました。



↑空手道入門生、上運天も入れてイヤー、上運天も入れてイヤー、上運天も入れてイヤー、上運天も入れてイヤー。



↑テープカットをする上間博安実行委員長(中)



←魚のつかみどり競争は子どもたちに大人気。



↑ユカタはまつりによく似合う。



↑チビッコ相撲チャンピオンは今泊A



↑職域カラオケ大会はまつりのフィナーレを飾った。



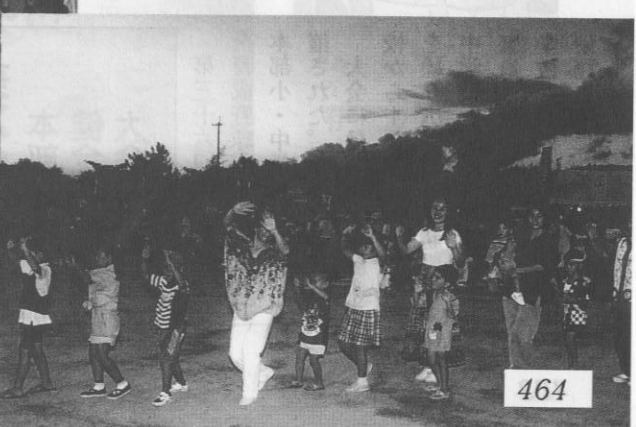
↑将来のナキジンウカミたち。

子どもも大人も楽しく踊った。→

ありがとうございました。

# 今帰仁村まつり

天気にも恵まれ大盛況!!



# 仲宗根のマチ(大井川橋付近)

仲宗根のマチの発達については、これまで何度か触れてきたので、今回は三枚の写真(石嶺蒲八さん、今泊提供)から昭和二十八年頃の仲宗根のマチの様子をみていくことにしよう。

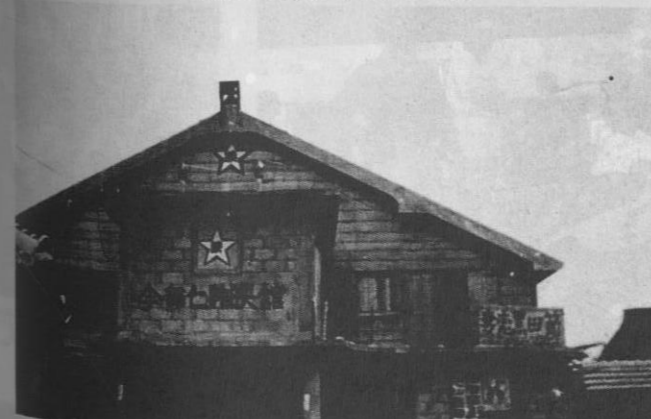
一枚目は昭和二十八年頃の



▲大井川橋付近(昭和28年頃)



▲戦後の郵便局(昭和28年頃)



▲仲宗根にあった「今帰仁沖映館」(昭和28年頃)

「沖縄バス株式会社今帰仁出張所」の大きな看板がかかっている。今帰仁村の昭和二十五年の人口が一万五千三百人余り、同三十年が一万三千七百八人余りで、現在の九千六百八人余りと比べると人口が多かった時代である。通勤時には満杯の乗客を乗せて走っていた。時々沖縄バスと昭和バス

(後に琉球バス)が競って客を乗せていた光景が見られた。バスの型は鼻があり、車掌が革のバッグを腰、あるいは肩からかけ、乗客の席を回ってキップを切っていた。女性にとつてあこがれの職業の時代があった。女の子が待合所の前を天びん棒でシチタンバクを担いで歩いているが、

水くみにも行くのだろう。橋の手前には簡素な瓦葺きの雑貨店があり、品物が並べられてるのが見える。雑貨店の右手奥に見えるのは大井川橋で、鉄でつくられた橋である。ここに橋がかけられたのは明治三十年頃である。山岳(サンタキ)から大井川橋への道(ミミチ)が開通すると寒水にあったマチがしだいに仲宗根の前田原一帯に移動してきた。

二枚目の写真は、昭和二十八年頃の仲宗根の郵便局である。入口の上には「今帰仁郵便局」と映のマークがある。映画館を経営していた長田節子さんは「戦後のどさくさ中、最初は露天で演劇などをし、映画館は昭和四十四年で閉めた。美空ひばりの映画になると人がいっぱい満席だった」と思い出してくれた。テレビがまだ普及してない頃、映画が一番の娯楽だった。小学校の頃、全校生徒で映画見学することがあった。「二十四の瞳」や「橋のない川」などが記憶に残っている。写真を見ていると忘れかけていた風景がよみがえってくる。

三枚目は郵便局の隣にあった瓦葺根の二階建ての映画館である。正面に「今帰仁沖映館」と映のマークがある。映画館を経営していた長田節子さんは「戦後のどさくさ中、最初は露天で演劇などをし、映画館は昭和四十四年で閉めた。美空ひばりの映画になると人がいっぱい満席だった」と思い出してくれた。テレビがまだ普及してない頃、映画が一番の娯楽だった。小学校の頃、全校生徒で映画見学することがあった。「二十四の瞳」や「橋のない川」などが記憶に残っている。写真を見ていると忘れかけていた風景がよみがえってくる。

# 保健婦だより



今年も住民健診の季節となりました。あなたは、毎年健康診査を受けていますか。「健康に自信がある」「去年受けたから今年はいい」「医者にかかっているから」と、健診から逃げてはいませんか。

健診の目的は、病気の発見だけでなくあります。年と共に変わる体の機能を調べ、健康を維持させるというねらいもあります。食生活の変化・交通機関の発達など、文化の発達が著しい現代では、成人病の増加が問題となつています。高血圧・動脈硬化・糖尿

# 住民健診のお知らせ

病・腎臓病など、いわゆる成人病と呼ばれる病気のほとんどは、初期症状があらわれない事少なく、症状があらわれた時はかなり進行しています。したがって早期に病気を発見し、早期に治療する為には、どうしても健康診断が必要なのです。健康診断はまさに「転ばぬ先の杖」といえます。

成人病は、働きざかりの30、40代にあらわれやすいので、家族の為に欠かさず受けて、明日の健康づくりに役立てたいものです。

## ★健診の受け方

①胸部レントゲン間接撮影  
・服装は着脱のしやすいもの。

②尿検査  
・検査会場ですぐとれるようにしておく。生理中の女性は前もって申し出る。

③心電図検査  
・待ち時間の喫煙はさける。

④胃の検査  
・前日は早めに夕食をすませ、当日は朝から食事・水・お菓子・ガム・薬・タバコ等、口からのものは一切入れない。

胃の検診は午前中です。

## 検診日程

検診月日	曜日	対象区域	実施場所	受付時間	対象区域	受付時間	実施場所
9月18日	月	今泊	今泊公民館	午前9:00~11:00 午後1:00~3:00	今泊	午前7:30~11:00	今泊公民館
9月19日	火	兼次	兼次志	午前9:00~11:00 午後1:30~3:30	兼次	午前7:30~11:00	兼次
9月20日	水	仲尾次	仲尾次	午前9:00~11:00 午後1:30~3:30	仲尾次	午前7:30~11:00	仲尾次
9月21日	木	平敷	平敷山	午前9:00~11:00 午後1:30~3:30	平敷	午前7:30~11:00	平敷
9月22日	金	謝名	謝名地	午前9:00~11:00 午後1:30~3:30	謝名	午前7:30~11:00	謝名
9月25日	月	呉我山	呉我山城	午前9:00~11:00 午後1:30~3:30	呉我山	午前7:30~11:00	呉我山
9月26日	火	湧川	湧川	午前9:00~11:00 午後1:00~3:00	湧川	午前7:30~11:00	湧川
9月27日	水	勢理客	勢理客底	午前9:00~11:00 午後1:30~3:30	勢理客	午前7:30~11:00	勢理客
9月28日	木	上運天	上運天	午前9:00~11:00 午後1:30~3:30	上運天	午前7:30~11:00	上運天
9月29日	金	仲宗根	仲宗根	午前9:00~11:00 午後1:30~3:00	仲宗根	午前7:30~11:00	仲宗根
10月2日	月	渡喜仁	渡喜仁	午前9:00~11:00 午後1:30~3:30	渡喜仁	午前7:30~11:00	渡喜仁
10月3日	火	古宇利	古宇利サプセンター	午前9:00~11:00	古宇利	午前7:30~11:00	古宇利サプセンター
10月8日	日	村全体者	村コミセン	午前9:30~12:00	村全体者	午前7:30~11:00	村コミセン

「もれ者」とは各名で検診を受けてない方です。

⑤大腸がん検査  
・忘れずに提出しましょう。提出日に遅れた時は連絡して下さい。

⑥喀たん検査  
・喀たん検査は、レントゲンだけではみつけない肺がんの発見に役立ちます。

⑦血液検査  
・血液検査は食事に大きく左右される(中性脂肪・血糖)ので、検査の二時間以内は食事や甘い物・ジュース類はとらないようにする。午前中に受ける方はなるべく絶食の方がよい。

※もよりの公民館で受診できなかった方は、他の会場で受診してもかまいません。健診時は、健康手帳を持参して下さい。

# 「ツール・ド・おきなわ'95」募集

開催期日：平成7年11月10日、11日、12日  
募集期間：平成7年8月1日～9月30日  
競技種目：

種目	定員	対象
チャンピオンレース200km	120名	プロ・アマ一般オープンレース
市民ロードレース200km	100名	高校生以上の一般男子
市民ロードレース120km	200名	高校生以上の一般男子
レディースロードレース80km	30名	高校生以上の女子国内招待選手
市民ロードレース80km	200名	高校生以上の一般男子
市民ロードレース50km	300名	高校生以上の一般男子
市民レディースロードレース50km	50名	高校生以上の一般女子
中学生ロードレース50km	30名	男子中学生

## サイクリング部門

種目	定員	対象
沖縄本島一周サイクリング387km	100名	高校生以上のサイクリスト
ロングストサイクリング102km	250名	高校生以上のサイクリスト
伊江島一周サイクリング(一泊コース)	200名	小学校4年生以上のサイクリスト
伊平屋島一周サイクリング(一泊コース)	100名	小学校4年生以上のサイクリスト
マウンテンバイクマラソン	100名	高校生以上のサイクリスト
ファミリーサイクリング	200名	小学校4年生以上ファミリー向け

### 連絡先

「ツール・ド・おきなわ」実行委員会  
TEL：54-3174  
FAX：54-3169  
担当：松本・諸喜田



# 金城正博君(今泊)が逆転 3ランホームラン 今泊チームが優勝

真夏の太陽がキンキン照り付けるグラウンド、今帰仁っ子は暑さを物ともせず、グラウンドを駆け回った。第七回村少年野球大会が八月六日、村運動公園サブグラウンドで七チームが参加して行われた。

試合には、小学校二年生や三年生の選手が、五・六年生に交ってプレー。体力のハンデイーをもともせず、長いバットを振り回したり、大きいグロブを手に声を張り上げて一生懸命がんばっていた。決勝には、今泊チームと玉城チームが勝ち上がり、打撃



▲決勝戦、今泊対玉城

## ご寄付

### 行方不明者をさがす相談所開設 《行方不明者等捜索強化月間実施中》

あなたの身内の方で、家出・その他の理由で行方が分からないままになっている方はいませんか？  
音信が途絶えて生死が分からない方はいませんか？  
本部警察署では現在、行方不明者の所在確認や無縁仏の身元確認に努めています。

- 実施期間  
平成7年9月1日から平成7年9月30日の1カ月間
- 問い合わせ  
沖縄県警察本部刑事部鑑識課  
☎098-862-0110 (内線2765)  
本部警察署  
☎47-4110 (内線241・232)

- 村社会福祉協議会へ
  - 大城タケさん(平敷八七)より夫、重助さんの香典返として五万円。
  - 上間聖子さん・仲宗根美咲さん(兼次中一年)より、拾取金五千元。
  - 今帰仁村・本部町建設業協会より、チャリティゴルフ収益江として二万円。
  - 上間シズさん(今泊一五二)より夫、政春さんの香典返として四十万円。
- 村育英会へ
  - 上間シズさん(今泊一五二)より夫、政春さんの香典返として三十万円。
  - 興業土建株式会社(代表取締役 内間清副、名護市字山入端八九二)より人材育成へ三十万円。
  - 大城重徳さん(仲宗根二〇六)より妻、芳さんの香典返として十万円。
  - 村歴史文化センターへ  
上間シズさん(今泊一五二)より夫、政春さんの香典返として三十万円。

# 湧川エイサー、鹿兒島を躍る

## 「海の祭典」で県代表



▲湧川エイサーは人目を引いた。

運輸省提唱による「海の祭典」が、七月二十日～三十一日に開催された。今年で十回を迎えた祭りは鹿兒島市で催され、この祭の一環「琉球弧の伝統芸能」に県代表として湧川青年会(嘉陽正成会長)が招かれ、全国規模の祭りに花を添えた。湧川青年会一行三十九人は、七月二十三日早朝、湧川公民館を出発し「錦江湾クルーズ」に参加湧川エイサーを披露し、観衆より、あつい喝采をあげた。出港時には私たち一行を

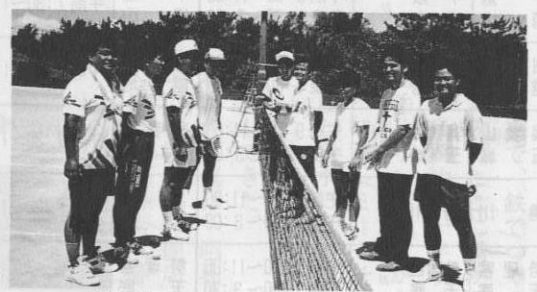
不安がらせた台風の接近もあったが、青年会の意気込みの強さにおされたのかフェリーなみのうえはどうにか那覇港を出港、二十三日二十五日の日程での鹿兒島への交流の船出となった。揺れる船中、船酔い者が多数出たにもかかわらず一行は甲板に出て練習する等、県代表としてのはりきりのほどが感じられた。

イベントでは、湧川エイサー、知名町のヤッコ踊り、笠利町の道の島太鼓が催された。夏休みの大勢の乗船者もクルージングを楽しみながら私たちのエイサーに盛んに目を向けていた。オープニングセレモニーが鹿兒島港の玄関前で行われ、そこで一回目の披露だ。たくさん観客が見守る中、意気の合った太鼓の音、かけ声にとり肌が立つほど・・・。本場にすばらしいエイサーで観客も曲が終わるまでじつと見入り湧川エイサーをたっぷり堪能しているようであった。

エイサーが終わるとものすごく盛大な拍手が長くおさまらないほどつづき、たくさんの人たちに沖縄、今帰仁村の伝統ある湧川エイサーを披露することが出来本場によかったと思った。それから乗船して、二回目のエイサーの披露。いくつかの催し物もあり、楽しいクルージング。夕方からは懇親会が行われ青年会も3つ程余興を出し、とてもなごやかな雰囲気となった。最後はカチャーシーで盛り上がりまして長いことみんなで楽しんだ。翌日はフェリーで島に渡り桜島を観光。途中、お土産を買い食べてしまった人、記念撮影ではしゃいでいた人、みんなそれぞれ思い思いに鹿兒島の旅を満喫していた。練習から本番まで湧川青年会を見事にまとめた嘉陽正成会長は「県代表として出演できた事を誇りに思っている。これを機会に村青年会の発展にも頑張っていきたい」と意気込みを語っていた。

# 謝名・越地チームがV<sup>2</sup>

## 第五十一回村球格技大会



▲村運動公園テニス場で行われた庭球。

第五十一回村球格技大会(主催、村体協)が八月六日北山高校体育館を主会場に開催された。

### 成績表

成績	優勝	2位
総合成績	謝・越	天底
男子 バレーボール	天底	今泊
女子 "	謝・越	兼・諸
男子バスケットボール	仲宗根	天底
女子 "	天底	謝・越
庭球	湧川	謝・越

た。しかし、卓球、剣道、相撲は二チーム以上の参加がなく、競技ができなかったことは残念である。競技の結果、五種目全てに出場した謝名・越地チームが女子バレーボール優勝のほか着実に得点をかさね、去年に続き二連覇を達成した。

**無料法律相談のお知らせ**

★玉城弁護士による無料相談を左記のとおり行います。

一、平成七年九月二十日(水)午前十時～午後四時

一、村コミュニティセンター(相談室)



# 9月/長月

1995年

9/1 金	○ 幼児ことばの教室(土・日・祝祭日除く毎日)(9:00~17:00コミセン) ○ デイサービス(土・日・祝祭日除く毎日)(9:00~17:00コミセン) ○ 麻しん予防接種(12:30~コミセン)
2 土	○ おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
3 日	
4 月	
5 火	○ 企画展(25日まで)(歴史文化センター) ○ 区長会(14:00~役場2階会議室)
6 水	○ 心配ごと相談(13:00~17:00コミセン)
7 木	○ 離乳食実習(13:00~コミセン)
8 金	○ 星座教室(9日まで)
9 土	○ 学校図書館開放日(各小学校) ○ おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
10 日	○ 仔豚セリ(13:00~セリ市場)
11 月	
12 火	○ 村畜産共進会(10:00~15:00セリ市場)
13 水	○ 心配ごと相談(13:00~17:00コミセン) ○ 敬老会(14:00~コミセン)
14 木	
15 金	○ 敬老の日
16 土	○ 牛セリ(11:00~セリ市場) ○ おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)

17 日	○ 兼次中・今帰仁中運動会
18 月	
19 火	
20 水	○ 無料法律相談(10:00~16:00コミセン) ○ 心配ごと相談(13:00~17:00コミセン) ○ 区長会(14:00~役場2階会議室)
21 木	
22 金	
23 土	○ 古宇利小中校運動会 ○ 子ども会活動の日(学校休業日) ○ 秋分の日 ○ おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
24 日	○ 兼次小・今帰仁小・天底小・湧川小中運動会
25 月	
26 火	○ 仔豚セリ(13:00~セリ市場) ○ 村長距離月例会(18:30~村運動公園)
27 水	○ 心配ごと相談(13:00~17:00コミセン)
28 木	
29 金	
30 土	○ 村社会福祉大会(コミセン) ○ おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン) ○ 村陸上競技(やり投・ハンマー投・円盤投)



## 国勢調査

平成7年10月1日

皆様のご協力をお願いします。

### 編集後記



コバテイシ

■ 緑豊かな今帰仁村。かつては大井川やニクン川など村内の川は澄切った水が流れ、タレイユウ、タナガール、ウナジがいたるところにいた。子ども達は魚を追い回し、どろんこになっては川に飛び込んだ。その清流を呼び戻そうと仲宗根子ども会は大井川を大清掃。その心をいつまでも持ち続けて、いつかはきつと――。

■ 兼次中学校同窓会は、八月十一・十二の両日、兼次小・中学校グラウンドで、第一回同窓生ソフトボール大会を開催した。

大会には、十七期生(四十六歳)から三十九期生(二十四歳)まで十四チームが参加した。盆休みで里帰りの同期生も多数出場し、久しぶりに会う旧友と試合そっちのけに雑談を楽しんでいた。

優勝は、投手力に勝る中年チーム(二十二期生(四十一歳))